

第3回地域振興事業（丘の公園）あり方検討委員会 会議録

1 日 時

平成29年6月2日（金）午後1時30分から午後3時15分まで

2 場 所

山梨県庁防災新館410会議室

3 出席者

（委員）小口委員、桑田委員、小林委員、立石委員、萩原委員、
村田委員、宮崎委員（50音順、敬称略）

（事務局）秋元企業局次長、櫻井企業局総務課長、須田総括課長補佐、
経営企画担当（3名）、財務担当（1名）

4 会議に付した議題等

議 事

（1）大規模修繕の方式の検討【一部公開】

（2）その他【非公開】

5 議事の概要

（1）大規模修繕の方式の検討について

（会長）

当該資料については、前回の委員会において、大規模改修の一つの方法としてはPFIという方法もあるのでは、という意見が出たことを受け、事務局が資料を作成したもの。

また、これについては、委員からも別途資料提供があったところである。何か意見があるか。

（委員）

事務局がPFIのコンセッション方式に焦点を当てた理由を伺いたい。

私が資料を提示した理由は、この制度を検討するにあたり、全体の枠組みが見えていないと検討しづらいだろうと考えたからである。PPPやPFIを議論するのであれば、全員でしっかりと情報を共有した上で行う必要があると思う。

(委員)

前回までの議論は、経営をどのようにより良くするかとか、現場の声をもう少し聞きましょうというのが大勢であった。また、大規模改修の話もしていきましょうということであった。今回いきなりPFIというテーマで出発したことには違和感がある。

(会長)

事務局から願います。

(事務局)

他県の事例など調べていく中で、このPFIのコンセッション方式が新しい方法として導入され始めていることが確認された。募集に対し運営対価に一定の値が付けば、大規模改修の財源も確保できるという、これまでに無い発想のものである。このため、丘の公園にもあてはめてみて、委員の専門的な観点からご意見を伺ってみたいと考えたところである。

山梨県としては、PFI導入事例は防災新館及び中央病院の駐車場の2例ほどしかない。このコンセッション方式は、全国でもまだ導入事例数が少なく、山梨県では事例がない。制度としてどこまで安定したものか分からないが、丘の公園の事情を踏まえ、一度は検討する価値があるのではないかと考えたところである。

(委員)

前回はテーマとして、ゴルフ場の27コースが負担になっているため、それをどうするかということを中心の検討とするということで終わった。私も今日の資料を見て、あれと思った。

(委員)

デューディリジェンスなどの試算があれば、丘の公園の場合、そもそも検討できるようなものではない、という結論も出るかもしれない。

指定管理に詳しい者に資料を見せたら、廃止にしたいのかなと言うのが第一声となるくらい、飛躍しているというのが、率直な印象である。

(事務局)

前回の検討委員会でも、どのくらいの修繕規模が分からなければ検討で

きない、という指摘があったが、これにはもう少し時間を頂く必要がある。今回はその前過程の説明までしか用意できなかったが、仮に継続という話になれば、相当の修繕費用がかかると考えられる。

一方、多額の借地料を払っており、その借地料から地元財産区に交付金が支払われていること、また、電気事業会計から建設費及び運転資金などを借入れたため、いわゆる巨額な債務があることがネックとなっている。

そういう色々なものを背負った中で、P F Iという提案をいただいたが、コンセッション方式において、運営権というものが、実際に売買できれば、修繕費まで含んで将来的な仕組みとして成り立つかどうか、まず説明したかった。そういう観点でご理解を頂きたい。

(会長)

個別の資産を、どのように運用及び管理するかということについて、1つの方式として説明をしたということか。

(事務局)

その通りである。

(会長)

本来であれば、全体の枠組みを提示する方が先ということである。

(委員)

そうだと思う。

(会長)

まず、個別資産の運用に方法には、どのようなやり方があるか。また、どのような物理的な管理の方法があるかという検討が、前提としてあり、その中に、公が所有する場合、民が所有する場合、公が運営する場合など、様々なパターンがある。

その中で、一つは、P P Pというものがあって、公と民と一緒に運営等をしていくというものであるが、その一つとしてP F Iがあり、なおかつP F Iの中にいくつか種類があり、その一つがコンセッション方式である。

今回、コンセッション方式について説明があったが、事務局の見解は、有効ではあるけれど、丘の公園の場合には少し無理があるのではないかという検討結果である、ということか。

(事務局)

その通りである。

(会長)

現時点では、事務局からの説明として受けてもらうが、今後の議論を聞いたうえで、審議してもらうということをお願いしたい。

P F I コンセッション方式について質問等があるか。

(2) その他の検討について

(会長)

他になれば、次回の日程について、事務局から説明してほしい。

(事務局)

今回は、必要なデータを示した上で、地域振興事業の今後の必要性について、意見をいただきたいと考えている。日程であるが、7月の最終週を考えている。具体的には、こちらの都合であるが7月31日(月)8月1日(火)を候補日として考えている。今の時点で日程が入っている委員がいれば教えてほしい。

(会長)

今から3回あるということであるので、体系的に議論ができる形で進めたい。

以上をもって、議事を終了する。